

とらえ

第4回 越冬 西成区 2-5-23
 532-4273
 84年 18号

あらゆる差別を許すな！

被差別部落大衆と固く連帯し

下層労働者切捨て「保安処分」を問ふ

軍事拡大と福祉切り捨て、弱者切り捨てを強行する政府支配層は、差別・排外主義と治安弾圧をますます強めていきます。昨年、横浜での「中学生たちによる失業野宿労働者暴行虐殺事件」とマスコミに

「この「浮浪者」キャンペーンは、日本社会の構造的危機を、戦争とファシズムによって乗りきることとする」とを露骨に表わしたものと

「この情勢の下で、全国精神衛生実態調査攻撃とそれに対する我々の反撃、右翼暴力団を走狗とする空、下層労働運動に対する攻撃と防衛闘争という、うずま

夜六時半より
 市民館で
 学習会あり

アルコール禁断症状の一

幻聴は、患者を侮辱し、

つとめて、アルコール幻覚

ののこるものなものが多く

症があります。振戦せん妄

命令的であり、幻聴に振り

において見られるものな症

まわされることがあります。

状はあらゆる水、

普通、禁

振戦はなく、意

断後、教

識を鮮明で、記憶障害もな

ない。数週間で消退するが

く、見当識もよく保たれて

まれには長期間持続し、慢

いるが、十二ないし四十八

性に移行する場合もありま

時間以内に、幻聴があらわ

す。治療としては、向性神

れます。

薬の投与が必要になります。

アルコール症

15

普通、禁

これを皮切りに、全国奇、せ場での、また、下層地域での差別煽動、治安弾圧、下層労働者切り捨ての攻撃が激まりました。特に、被差別部落大衆が生命線とする差別糾弾に対する制限を加えた八度判決は、その最たるものといえましよう。そして年未期より、戦争屋、一かんの訪日、新韓す

集會 映演
 市民館 西成市
 ひろみから
 フーテンの賣
 三池内争

たたかわれています。すに国会上げられ継続審議になっている拘禁二法から国会で上げが目論まわれている刑法改憲、保安

山谷で三名生還

昨年未、十二月二〇日の東京

都山谷対策室と山谷争議団との

交渉を遂行し、テープレコーダ

で記録をとろうとしていた公

安のスパイを糾弾、追放しよう

とした仲間の中から逮捕された

三名(笠一、笠島一、山谷一)

が、昨日、警察、検事の持ち時

間切れの後、釈放され、対右翼

暴力団西戸組内争の戦列に復帰

した。

このことは、団体交渉へのス

パイ活動の不当さがより一層鮮

明にされたことを意味し、警察



検事の拘留が政治弾圧にほか
ならなかったことを明らかにし
ている。

山谷ではなお十二名の仲間が

拉置されており、笠島でも三名

の仲間が拉置されている。

警察による不当逮捕、検事に

よる起訴攻撃をはねのけ、全容

せ場労働者が団結して、更に固

りを続けよう。

人民医療パトロール

昨夜、越冬争の一環として

釜崎医療連絡会により、医療

従事者の会のお医者さんの協力

をえて、天王寺・ナンバで青カ



ンも強いられている仲間に対し
て、人民医療パトロールがおこ
なわれた。

天王寺・ナンバとも二五〇三

〇名の仲間がせりせりあり、ほ

こんどの仲間が元気であったが

高齢者、病者については診察し

四名に対し投棄した。

フーテンの寅さん登壇

今日、風、二時から、市民館

において映画集会が開かれる。

映画は、あの寅さんの二作目

と、かの有名な三池炭坑内争

の記録映画である。

笑いかつ学ぶ、好取り合わせ

であると考え、多数の参加を

十三日(金)にも、昼に映画集

会、夜に学習会が予定されてい

る。テーマは、反差別とわいら

の国際連帯。是非、参加を!

処分新設の動きは、全国の
「障害者」「下層労働者」に
一層の隔離抹殺を強いるも
のです。

「保安処分」新設、精神

実態調査や、野宿労働者隔

断、又、臨泊減少という政

撃は、全体としてどういう

形で、私達「下層」労働者

をくめ上げ、くめ殺そうと

しているのか?

殺られてたまるか?

今こそ、酔った顔を冷や

し、マナコを開いて、敵の

ワナを見せよう!

今夜、六時半、市民館に

集まろう!

パトロール班別	
参加者数 1月10日	
センター	191名
周辺合計	280名
★13回	274名
★12回	212名

えとら

第14回 冬冬越 盆
西成区 茶屋 2-5-23
盆時争討園 寄付 632-4273

'84 1/2
*19号

反差別・反保安処分学習会

深刻な討論と笑いの二時間半

約百十名の仲間が集まり、深刻な体験談、そして活動報告などが昨晩、西成市芹飯でおこなわれた。報告はまず、釜ヶ崎差別と肉の連絡会(準)からおこなわれ、昨年初頭の、寿町

野宿労働者差別抹殺事件をきっかけに、大阪においても釜ヶ崎、争議団を中心にナンバ、ウメダなどで青年層調査がおこなわれ、日雇、若カシ者差別、抹殺攻撃が全国的なものであり、

世の大きな流れ、日本の軍事大国化とつながる問題、ファシズムの予兆であることらえて、広範な人々と連帯し、共に闘うために発足した経過、そして今後、広範な反差別を闘う人達と

アルコール飲酒による、慢性の精神障害として、コ

50?60才代に多く、アルコール症の約3%に見られま

損を作話でりめよとこます。予後は悪く、不可逆的な症例もあり、かなり長期間の治療で回復する例もあります。ほぼ完全な回復は20%、回復不能が80%、その他の多くは若干回復するといわれています。

連載 16 アルコール症

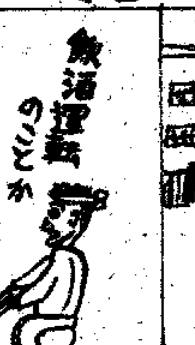
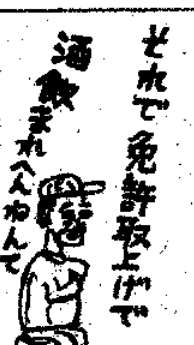
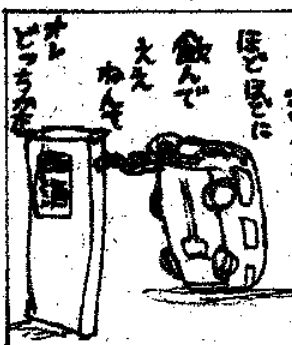
オ。症状としては、記憶障害、失見当識、作

話があり、数分前のことも思いだせず、この記憶の欠

による栄養障害として、ビタミン不足がりの水てります。

医療従事者の会

パトロール班より



1月11日 センター 昨年 周知会合計
 青加者数 172名 176% 252名 *13回 238名 *12回 203名

ある全ての差別と肉に絞って、
くことが明らかになされた。

結核菌は強くなま

次に、春の医療週間や秋の医
療週間、そして今越冬の医療活
動と年間通じて釜ヶ崎の医療問
題に取り組んでいる釜ヶ崎医療
連絡会より、年間の活動報告を

特定されたものが残る。
釜ヶ崎目立つ結核は、治療途中
で退院し、またひどくなつて入
院治療するというケースがマ
あり、そのことにより、強くな
つた結核菌が一番やっかいなも
のとしてある。仲間に結核菌を
まきちらかすことになり、マ
完治するまで治療を継続するよ
う努めて欲しい、という注意が

とか、ともかく様々な理由をも
うけて、乳児院へ入れる数を少
なく少なくしようとし、その結
果として、施設
の充て率(定員
に対して、何人
入っているか)が低くなれば、
施設の必要性が少なくなった
証拠である。として定員を切
り下げ、補助金などをまきりつ

福祉切捨て 役所の窓口

ある福祉施設で働く事務員が
んが、怒りと共に、役所の福祉
切り捨てるの窓口を伝えてくれた。
その人によれ
ば、乳児院に入
れたら希望者は
たくさんいるのだが、福祉の窓
口で、あなたは子供をかかえた
ままでもやっつけていける、あなた
には御主人がいるのではないか、

めにかかると、
これは市更相、あるいは自治
の減少を強行する大阪市民生局
のやり方とまったく同じである。
自治の受付窓口を、市更相の
相談窓口をせばめておいて過少
の福祉実績をつくり、それをも
とに必要がなくなったと翌年更
に切り縮める。全ての福祉切捨
の根は一つだ。中曽根政権打倒、

討論

なされたのが印象に残る。
三番目に、精神衛生実態調査
の経過と問題点、そして更なる
向いの呼びかけがなされた。
仲間の中で、精神病院で治療
を受けているものも少なからず
あり、みずびしに出る問題で
ある。
て現在、青カンを強いられてい

る仲間、
どで青カンをしたことのあ
仲間の確認がなされたこと
なせ青カンを強いられるの
か、青カン状態でのどのよ
なしうちをうけたか、深刻
な現実が語られた。
支援に来てくれる障害者か
らはセンターのピラミッドの
時、二二はゆき人のくると
こやとアジックされたとい
う言葉がなされ、差別がな
く連帯しよう、と強くうっ
たえられた。
精神科医によるアルコール
乱用の話はわかりやすく、
「モロに富んだもので笑
がまきあつた。
最後に部落解放を叫ぶ
る西岡さんより、適切で力
強いまどめがなされた。

えとら

お互いの立場を認めあい団結を！

百四十名の仲間が在日朝鮮中国人の訴えを！

昨夜、市民館での学習交流会には百四十名の仲間が結集し、在日朝鮮人、中国人からの、お互いの立場を認めあい団結をの訴えを真剣に受けとめた。その中身を紹介しよう。

まず最初に高麗労働者連盟の代表の話から！。日本には約七〇万人の在日朝鮮、韓国人がいる。その中には人夫出さなどの業者もいるが、圧倒的多数は労働者であり、釜の日雇と

同様な長時間、低賃金労働に苦しんでいる。生野の代表産業といわれ、ハッア・サンダル産業では、季節変動になかされ、シンナーの害に肉体をおしばまれながら、下請、内販

的要素の中で働いている。働けるうちはいりければ、年とつたり、アブれたり、病気になるまで働けなくなつたら、釜の労働者と同じで何の保障もなく使われてらる。民族差別の結果、職はせばめられており、大阪の夕クシー労働者二万人のうち一割は在日朝鮮、韓国人であるといわれているし、大企業にはほとんど入れないが、万が一入れたとしても、ちよつと目立つた動きをすれば、様々なかたちでイヤからせざるうけて追い出される。

医療従事者の会、の諸先生から「この日刊えとらに、わかりやすい医療メモを連載してもらっていただけますが、その他にも、実際に体を動かして治療活動をおこなってもらっています。夜十時のパノロに随

行ってもらってヤケドやスリ傷等の外傷の治療や臓系の診断をおこなってもらっています。

野営地で、フトンで寝ている仲間がおかしきというので様子を見に行くところ、

止った心臓が再び

人民医療の力

止った心臓が再び動いた。人民医療万歳

的な出来事は一度止まった心臓が再び動いたこと

わてで心臓マッサージをはじめ、こばくすると再び動き始めた。人民医療万歳

韓国、本国にありても多くの労働者は困難な生活を渡らされてあり、経済的

に中心国になったといわれるが、経済活動の七割は一部財閥によつて占められており、日本の大資本もそれに参画している。

この間の意味では、韓国の労働者も、在日朝鮮人、韓国人労働者も、釜の労働者も、共通の敵を持つていえる。共に交流を深め、団結を強めていこう。

寿における越冬の様子がわかったので報告する。

寿では十二月二十五日に前夜集會、三〇日に突入集會が開かれ、一月四日まで越冬が満ちた。

ただ、夕方の四時の一回で、一月三〇日の換着四五〇食を、かめきりに三日の六一四食まで合計二、八三四食(最大は二日

新しい民族関係を

在日中国人の仲間からの声―自分の父親が戦前、土浦で食堂をやっていたが、特攻隊員がきてタダメシをくったり、オフクロに肩をたたかせたり、この差別的対応を受けたという。

の六八〇食)が出された。

パトロールは夜一〇時、午前一時の間、寿の内外についておこなわれ、一月三日の二一人(内一七人、外九五)

**八七名に
福祉の手が
寿・越冬報告**

が最大に延四五九名の青カン者が確認され、毎回の食のスペースが供された。ただ、アオカン者数とも

兄は丹波に住んでいるとき、

チヤンコロと呼ばれ馬鹿にされたという。私にも同様の経験がある。この間の差別にかわるべきもの、新しい民族関係を築くにはどうすればいいか―

に、昨年より二割強の増加であった。

行政は、昨年仕事が少ないこと、昨年よりワケを広く対応したよう、居室保護を中心に、トヤへ二五〇人(昨年二〇〇人)、施設へ五〇人(昨年五〇人)収容し、十二月二十九日と三十一日と一月二日の四日間、計五八七名に一週間のトマ房と一食四〇。用相当

て机をたたいたところ、机の足が折れて机がたおれ、満場大爆笑―。

他に東九条、自治政治犯釈放、在日韓自治犯釈放運動などの報告があった。

パトロール
1月13日
青カン者数
セクター
154名
04年
134名
246名
*130 199名
*120 196名

の食券、三食六食の一八枚を支給している。

仕事よこせの要には、市発注の公共事業、パ―セントをきめて回収することを確認され、具体的ができ、取安

行政のヤヤ積極的が

高令者・障害者の

仕事を勝ちとろう

越冬戦争を終了をひかえ、元
 気な者は仕事へ、病気の者は市
 更相へ、高令・障害者には軽作
 業の方針が提起されている
 が、一月十三、十四日の二日間
 に、軽作業希望者六名の内五名
 が京都の飯場に入った。

軽作業希望者の一つの目安と
 して、紹介をしておく。

Aさん(四八才)―二年間、肝
 炎で病院や自強館にいたが、酒
 で出された人。

Bさん(五一才)―昨年四月ま
 で飯場に行っていたが、五月か
 らアフレして、日本橋でアオカン
 バタ屋などをしていた。

Cさん(六〇才)―昨秋は現金

で仕事に行っていた。働きたい
 と思うが、ドマンでいねられる

Dさん(六一才)―今まで、な
 んでもやって来たが、やはり年

Eさん(六八才)―ガンパツて
 きたが、もうソウジぐらいしか

できない。マカナイで入りたり、
 七二才の下さんについては非

常におづかしく、また仕事
 は見つからず、つらなり。

仲間たち、元気な者にも
 まだ充分な程には仕事があ

い。また、四月以降のアア
 レ地獄の再来も心配される。

仕事よこせの肉りを準備
 し、アフレ地獄を打ち破る
 う。次回は十七日(火)に
 軽作業希望者を受け付けます。

釜ヶ崎の仲間たち

皇議会川西戸組内争被害者
 て、獄中より連帯のあいさ
 つを送ります。

きびしいアフレ地獄に加
 えて昨年は、五月の横浜寿

町周辺でのアオカン労働者
 差別・虐殺事件、八月の山谷で

の右翼暴力団、皇議会川西戸組
 の武装襲撃事件が起き、我々日

獄中アフレ

東京拘置所在監 風間 竜次

雇労働者を取り巻く状況はきり
 めて重大な局面に突入している

といえ
 ます。

時代
 は我々

に對し

黙って虐殺、野垂れ死攻撃にさ
 らされるのか、文句もいわず、

お国のためにニキ使われるの

か、それとも肉う労働者として
 決起するのかをせまっているの

です。
 仲間たち、今、山谷争議団を

始めとする山谷の仲間たち、日
 雇全協、支援の仲間達は、警察

の不当弾圧をはね返し、西戸組
 を追いつめていきます。団結する

労働者の力こそが偉大であり、
 強大であることが、この肉いで

もはつきり示されたのです。
 こうした労働者の団結した

肉りによってしか、仕事も
 生活も保障されないと、未

来も切り開かれませんか。
 不当弾圧をうけ、今年は

釜の越冬戦争に参加できま
 せんでしたが、獄中で共に

頑張りたいと思います。弾
 圧粉砕、団結、闘争、勝利。

えとら

市更相は病気の仲間を全員入院入寮させる。

越冬医療班は、越冬向
争突入後の12月25日より、
病気の仲間の医療相談に充
ててきた。医療券の発行は
現在まで529名にのぼり、医
療センター診療後、市更相
へ生活保護の相談に行った
仲間は39名にもなっている。

相談者のほとんど全員がア
オカンを余儀なくされ、無
一文で寒空にうちふるえ、
生活に困窮しており、入院
あるいは入寮しなければ日
毎に体が悪くなるにもかか
わらず、市更相の役人は「
死んでしまえ」といわれん

ばかりにナンクセを付けて
仲間を追い返し続けしている。
市更相相談者39名のうち、
入院できたのは54名、入寮
できたのは100名にすぎない。
しかもその100名のうち約70
名は臨時宿泊所のため、すべ
に南港臨時宿泊所、自強館

昨年の12月の西成区での
「行路病死」が30名をこす
数と思われる。毎年、釜ヶ
崎では、二〇〇人
から三〇〇人の労働
者が虐殺されて
いる。

「行路病死」というのは、
行政内争ととも、労働者自
身による
自覚的な
健康を守
る運動が必要と思われる。
行政内争を通じて、医療
施設への入院なり、生活保
護の適用を拡大させること

がもめられている。
そして、その行政内争と
自分の健康は自分で守る闘
いを結合する。
アルコール、肝臓病、心
臓病、高血圧などの学習も
必要である。釜での仕事
と病気の関係を調査などを
通じて明らかにし、「行路
病死」を撲滅しよう。

直接の死因は、たぶん
心臓発作、脳卒中、アルコ
ル飲用後の凍死、衰弱死

19 おめり
「行路病死」というのは、
行政内争ととも、労働者自
身による
自覚的な
健康を守
る運動が必要と思われる。
行政内争を通じて、医療
施設への入院なり、生活保
護の適用を拡大させること

から放り出されている。臨
泊にも行けなかった仲間は
アオカンを余儀なくされ
行政の見殺し政策による行
路病死者は、12月において
30名にものぼっているのだ。
南港の臨時宿泊所の入所
人員は、一昨年は198名、前
回は196名、そして今回はわ
ずか89名であり、福祉切り
捨て政策はここ数年如実に
あらわれてきている。12月
29・30日の受付日に、大阪
市民生局、市更相は、空手
部学生アルバイトを雇い、
更には西成署のポリ公を介
入させ、却下された労働者
の怒りの抗議への回答とし
たのだ。しかも今回は自強
館の正月三ヶ日の受付を閉
鎖し、病弱者、生活困窮者

から放り出されている。臨
泊にも行けなかった仲間は
アオカンを余儀なくされ
行政の見殺し政策による行
路病死者は、12月において
30名にものぼっているのだ。
南港の臨時宿泊所の入所
人員は、一昨年は198名、前
回は196名、そして今回はわ
ずか89名であり、福祉切り
捨て政策はここ数年如実に
あらわれてきている。12月
29・30日の受付日に、大阪
市民生局、市更相は、空手
部学生アルバイトを雇い、
更には西成署のポリ公を介
入させ、却下された労働者
の怒りの抗議への回答とし
たのだ。しかも今回は自強
館の正月三ヶ日の受付を閉
鎖し、病弱者、生活困窮者

アングルト報告

昨夜、野営地においてアングルト調査をおこなった。完全に答えてもらったのは一四八人で、そのうち一〇六名がセンターに出で求職活動をおこなっている。年あけて就労できた仲間は一八八人（そのうち三日以内しか就

横浜での我々の仲間に対する少年グループの襲撃・虐殺事件、全斗煥と戦争屋レーガンが血塗られた手を握り、中曾根は「日本列島を不沈空母」にすると言国主義をぶち上げる。我々はこの政治と社会に立ちこめる血の匂いとキナ臭さの中にある。ファシズムの予兆を許してはならない。

獄中アピール 山谷の仲間から

労できなかった仲間が三四人にすぎず、仕事を求めてセンターに出た仲間のうち五八名はアピールしている。政治の受付にいったところのものは五七名で入れたものは二九名である。手帳を持っていくものは三〇名。仕事がなく福祉切捨てによる音カシであることが教訓的にもはつきりした。

社会的な差別・虐殺の公然たる煽動とは、戦争遂行体制に就いて役に立たない者を始末せよといふこと。に他ならない。マフザがその暴力性を唯一の拠として政治団体を名づけたといふことは、そのための任務を自ら見出し出たからである。

を切り捨て、アオカンを強制した。その結果、正月三日のアオカン者総数は101名であり、これは前回の102名を62名も上回っている。仲間たち。いよいよ明日で越冬山争は終了する。病気の仲間は全員医療センターで診察を受け、市更相へ行こう！

我々は二二に、階級解体攻撃とその過程に社会化される非道の暴力による侵略と戦争へ向けての階級再編の突撃隊の正体をはっきり見る。我々はこれを絶対に許さない。ファシズムといひのは、階級支配の破壊の恐怖と階級闘争に対する憎悪の中から立ち現われるといふことである。そして、その解決しよりのなれば階級支配

パトロール班報告

1月15日 出勤者数

センター	昨年	172名
	今年	196名
周辺合計		280名
★13回	★12回	191名
★30回		230名

の破壊の深まりの中で、侵略と戦争は必然化され、二二に差別、排外主義が血煙りを上げることになる。二二のよう、歴史は階級闘争を拒絶するものを、絶対許すべきでないことを教えている。西戸組、日本国粋会の登場は、まさに山谷における支配の再編期における登壇である。断固、肉け抜く

悪徳飯場追放が青カン撲滅の第一歩

春期闘争へ

一五日に野営地でおこなわれたアンケートの中で、一月四日から一四日までの間飯場に居て、実働九日の取り分がありながら、一五日の夜、青カンさよびぎなくされていた仲間がいた。名古屋の飯場で、一四日に仕事中心がきく、病院代として一万円貸してくれただけで帰されたという。年明けから六日飯場で働いたが、その金が手元に入らないので困っている仲間もいた。

飯場に十一日働いたが、

五日働いて六日間休まされ食費などでくいものにされ、とりで、イヤ気がさして帰って来て、青カンしている仲間もいた。

仲間達!

アオカン撲滅にむけて、福祉切捨、里事拡大路線粉砕、釜に仕事を出せ、の二つの（民生・労働）行政闘争を互に関連させて、年間を通じて闘い抜かれなければならぬ。

それと同時に、働きながら、取分があるのに青カンを強いられる仲間の例でも判るように悪徳飯場も追放されなければならぬ。

越冬はおわつても闘いは

続く！ガンパロー！

釜ヶ崎キリスト教

協友会より

第一四回越冬闘争にキリスト教グループは釜ヶ崎キリスト教協友会として参加支援してきた。形勢的にはキリスト教越冬委員会時代



とは違ったが、内容的には一歩前進ではなかったか。協友会に参加するグループがそれぞれの特徴を生かし、支援活動ができた。物的な支援は、これまで通り変わらない。夜間パトロールも協友会になって参加者が減ったとも思われな。あころ、キリスト教グループの枠にとらわれず、直接越冬会の活動に主体的に参加する人がふえた。ある者は布田敷き、徹夜の警備、朝の諸活動あるいは行政闘争にとりつた具合である。問題は、越冬闘争終了後、向争を通じて明らかになった課題を年間を通じて協友会各グループがどう担うかにある。

警備班より

我々警備班は、今、越冬肉争

のテーマの一つ「労働者自身の越冬」の下、年末の市更相への殺人的対応に怒る仲間達の参加を続々とえて、病弱、高令、障害で青カンせざるえない仲間たちを、殺人行政ヤシンギか

今回の越冬肉争の中で、医療パトロールを、釜ヶ崎の中と週辺でそれぞれ行行った。

釜の中での医療パトロールでは、肝硬変の末期症状で、黄道浮腫、肝腫大のみられる仲間がいた。この仲間を救急車を呼んで入院できるようにした。本人が拒否してこなかった。また、脳血栓になったことの

医療パトロール報告

医療従事者の会

ら防衛してきた。市民生局による「政治」二年大幅削減という厳しい状況の中で、爆発的に増えたセンター前で青カンする仲間の中から「死者」を出さなかったのは幸いであった。しかし、26日センターすぐ近くで一人の仲間が「凍死」させられたのが悔まれてならない。

ある労働者が、血圧二百以上で寒風の中にいる。

更には、マルコールを飲んでそのまま寝込んで、身体を非常に消耗させている労働者もいた。

二回目は、天王寺、ナンバに医療パトロールに出た。天王寺では、結核の再発によると思われる仲間がマオカンをしていた。

また、70才前の老令の仲間もマオカンをして、風邪をひいていた。

我々は、この怒りと力、今年も、資本の使い捨て、行政の切り捨てに抗し、春闘、対行政肉争を闘い抜いていきたい。



最後に、警備という裏方の任務に、多くの支援の仲間が参加し、頑張ってくれたことを感謝します。

また、多くの病弱者がいた。釜ヶ崎での労働運動の中に健康を守る闘いを位置付け、福祉切り捨て攻撃と闘い、行政肉争を計画的に準備しなければならぬ。

釜ヶ崎解放のために、健康を守る闘いをつくりだそう。

また、70才前の老令の仲間もマオカンをして、風邪をひいていた。

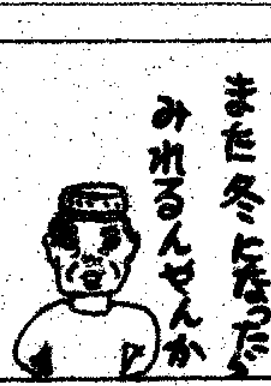
おめりかまー



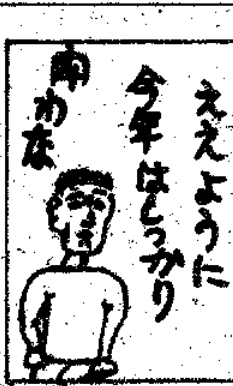
ロマンチ



また冬にまた



あほいうな 越冬肉争せえでも ええように 今年はしつかり



パトロール班より

1月16日	センター	昨年	周辺舎合計	*130
→ 青カン者数	718名	161名	311名	226名

元斗争案内図

★第14回釜ヶ崎越冬斗争実行委員会

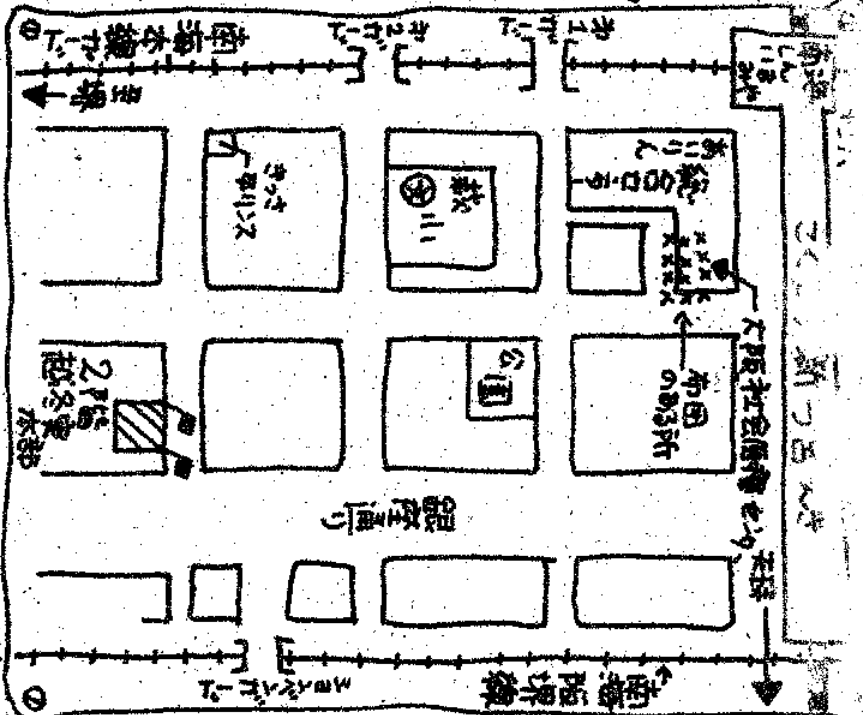
西成区萩の茶屋 2-5-23 釜ヶ崎斗争団会付
TEL 06-632-4273

期間 1983 12月25日 ~ 1984 1月16日

★メイト2017「寄世場・全労連の連帯で」

石原化を撃て。

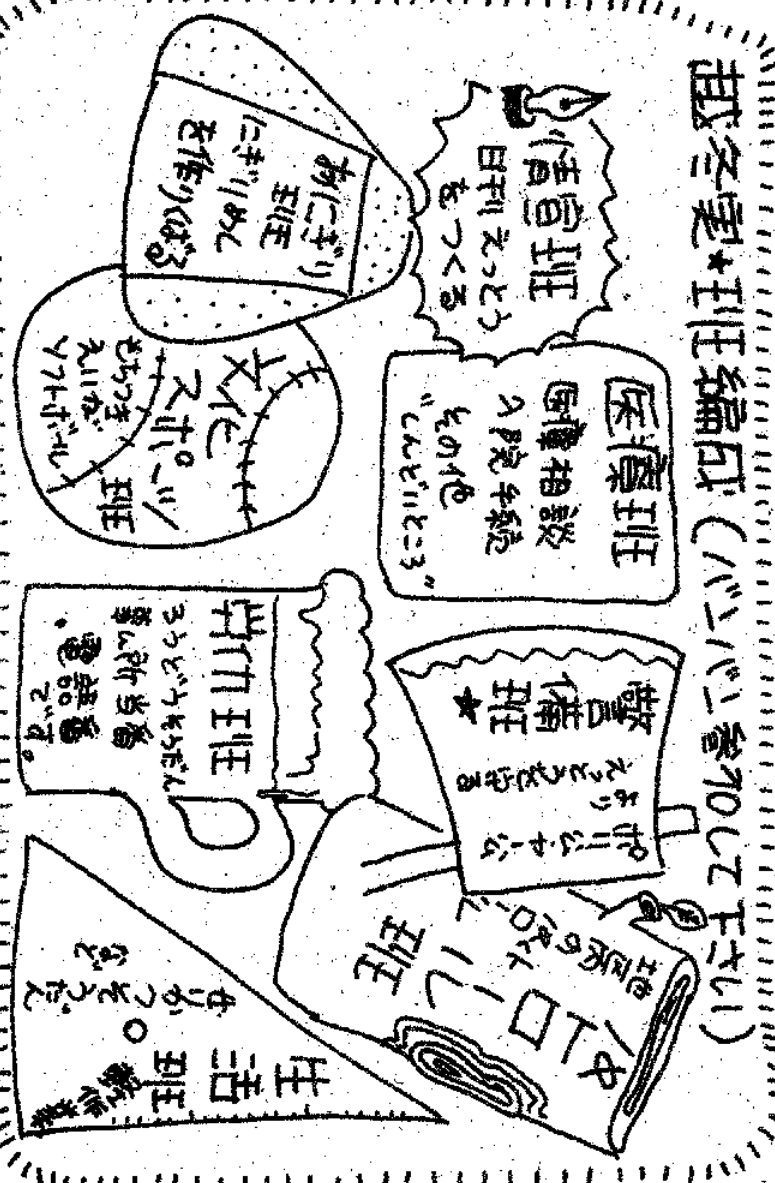
越冬斗争班編成 (バウバウを叩いてFELL)



一日の活動スケジュール

朝	5:00 ~ 布団あげ
	6:00 ~ せうまき
	7:00 ~ あにぎい
	8:00 ~ 医・学・生・相談
	9:00 ~ くらりまう
	13:00 ~ 市会期へ
夜 ☆	20:00 ~ 布団さき
	22:00 ~ 18ホール

↓ 警備



- 18 釜ヶ崎集会
 - 21 前段18ホール
 - 24 突入決起集会
 - 25 越冬斗争突入
 - 29) ぶんごんくはくし
 - 31 越冬行事
 - 1/2 ぶつ大会
 - 3 17ホール大会
 - 4 対市抗ギ行活動
 - 6 } 学習会
 - 11 } 学習会
 - 13 } 学習会
 - 16 越冬終結!
 - ↓ 春期斗争へ
- ③ 多少の変更あり
- ＝情報班＝